



支部だより 静岡県支部総会

2023年
11/18(土)

令和5年11月18日(土)、中島屋グランドホテルにて名古屋大学医学部学友会静岡県支部が開催されました。

初めに西村哲夫副支部長より開会の挨拶、岡本好史支部長より支部長挨拶が行われました。岡本支部長より会員を増やすための政策や、名古屋大学卒の医師や学生が静岡に来るような政策についてのお話がありました。その一環として、今回は総会後の講演から名古屋大学の4、5年生が参加しました。その後、支部会計報告、会計監査報告、会員現状報告が行われ、令和4年度にご逝去された会員の先生方に哀悼の意を表して黙祷が捧げられました。また、静岡県支部役員人事についても話し合われました。

総会に続き、名古屋大学産婦人科学教授、梶山弘明先生より『産婦人科医の視点から日本の少子化とその本質を考える』という演題で講演をしていただきました。世界中の人が現在の日本と同等の生活をおくろうとすると地球が一つでは足りないため、少子化に向かうことは不自然ではないということや、他の国の少子化政策を元にしたどのような政策がよいのかなどをお話いただきました。次に、名古屋大学臨床感染制御学教授、八木哲也先生より『After/With コロナの感染対策』という演題で講演

をしていただきました。コロナウイルスの進化についてや、感染対策としてマスクや換気の重要性について、今後の課題としてワクチンの接種間隔や免疫不全の方への治療についてお話いただきました。最後に静岡県立静岡がんセンター放射線・陽子線治療センター、センター長西村哲夫先生より『20分間でたどる放射線治療の発展：原体照射法の開発から今日まで』という演題で講演をしていただきました。放射線治療の進歩と現在の最先端の技術について、そしてそれぞれの技術の特徴に沿って使用していく必要があるとお話いただきました。また、西村先生が学生時代の講義写真では現在とほぼ変わらない講義室の様子を拝見することができました。



支部だより 岐阜県支部総会

2023年
9/23(土)

去る9月23日、グランヴェール岐山にて名古屋大学医学部学友会岐阜支部総会が開催されました。松井春雄役員(S56年卒)の司会のもと、小笠原文雄支部長(S48年卒)の挨拶から始まり、越前真理子役員(H21年卒)が会計報告を行いました。その後、木村宏医学部長(S60年卒)から「名古屋大学医学部の現状と課題～東海国立大学機構としての取り組みを中心に～」をご講演いただき、さらに、消化器内科の川嶋啓揮教授(H7年卒)からも「名古屋大学消化器内科の近況」をご講演いただきました。その後、浅岡まさみ先生(S38年卒)の乾杯のご発声とともに懇親会にうつり、和やかな雰囲気でも語る話に花を咲かせました。

新型コロナウイルスの影響で、このように顔を合わせ

て懇親会を行えるのは約4年ぶりとなりました。まだ参加が叶わなかった先生もいらっしゃいましたが、久しぶりの再会を喜び合いながら、盛会のうちに終了となりました。

